第5講 連立漸化式

イントロ 次の数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ のはじめの 3 項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 2$$
, $b_1 = 1$, $a_{n+1} = 3a_n + b_n$, $b_{n+1} = a_n + 3b_n$

解説

$$a_1 = 2$$
, $b_1 = 1$, $a_2 = 3a_1 + b_1 = 7$, $b_2 = a_1 + 3b_1 = 5$

$$a_3 = 3a_2 + b_2 = 26$$
, $b_3 = a_2 + 3b_2 = 22$

このように a_1 , b_1 の値から a_2 , b_2 , a_2 , b_2 の値から a_3 , b_3 が求まっていく連立型の定数係数の漸化式には,大別して 2 種類のタイプがある。その 1 つは a_n と b_n の係数の等しい対称型と呼ばれるタイプであり,もう 1 つは等しくない非対称型である。対称型については,数列 $\{a_n+b_n\}$, $\{a_n-b_n\}$ がともに等比数列となることから,連立式の両辺の和と差をとって,一般項を求める。

Point 9 -

 $a_1 = a$, $b_1 = b$, $a_{n+1} = pa_n + qb_n$, $b_{n+1} = qa_n + pb_n$ $(q \neq 0)$ で定められた数列

連立式の両辺の和をとり、 $a_{n+1} + b_{n+1} = (p+q)(a_n + b_n)$

$$a_n + b_n = (a_1 + b_1)(p+q)^{n-1} = (a+b)(p+q)^{n-1} \cdots 1$$

連立式の両辺の差をとり、 $a_{n+1}-b_{n+1}=(p-q)(a_n-b_n)$

$$a_n - b_n = (a_1 - b_1)(p - q)^{n-1} = (a - b)(p - q)^{n-1} \cdots 2$$

①+②、①-②より、 a_n 、 b_n を求める。

例題 9 次の数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$ $a_1=2, b_1=1, a_{n+1}=3a_n+b_n, b_{n+1}=a_n+3b_n$

解

$$a_{n+1} = 3a_n + b_n \cdots 0, b_{n+1} = a_n + 3b_n \cdots 0$$

①+②より、 $a_{n+1}+b_{n+1}=4(a_n+b_n)$ となり数列 $\{a_n+b_n\}$ は等比数列なので、 $a_n+b_n=(a_1+b_1)4^{n-1}=3\cdot 4^{n-1}\cdots$

①一②より、 $a_{n+1}-b_{n+1}=2(a_n-b_n)$ となり数列 $\{a_n-b_n\}$ は等比数列なので、 $a_n-b_n=(a_1-b_1)2^{n-1}=2^{n-1}\cdots\cdots$ ④

③④より, $a_n = \frac{1}{2}(3 \cdot 4^{n-1} + 2^{n-1}), b_n = \frac{1}{2}(3 \cdot 4^{n-1} - 2^{n-1})$

練習 9 次の数列 $\{a_n\}$ 、 $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$ $a_1=2, b_1=1, a_{n+1}=2a_n-b_n, b_{n+1}=-a_n+2b_n$

イントロ 次の数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ のはじめの 3 項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 5$$
, $b_1 = 3$, $a_{n+1} = 2a_n + 7b_n$, $b_{n+1} = a_n - 4b_n$

解説

$$a_1 = 5$$
, $b_1 = 3$, $a_2 = 2a_1 + 7b_1 = 31$, $b_2 = a_1 - 4b_1 = -7$

$$a_3 = 2a_2 + 7b_2 = 13$$
, $b_3 = a_2 - 4b_2 = 59$

非対称型の連立漸化式では、両辺の和と差をとって、数列 $\{a_n + b_n\}$ 、 $\{a_n - b_n\}$ を考えても、一般的には等比数列にはならない。すなわち、

$$a_{n+1} = 2a_n + 7b_n \cdots 1, b_{n+1} = a_n - 4b_n \cdots 2$$

として、①+②や①-②ではなく、①-②×kを計算し、数列 $\{a_n - kb_n\}$ が公比 α の等比数列となるように α , kを決めることを考える。つまり、式変形の目標を、

$$a_{n+1} - kb_{n+1} = \alpha \left(a_n - kb_n \right)$$

とするわけである。一般的には、次の Point 10 のようになる。

Point 10

 $a_1 = a$, $b_1 = b$, $a_{n+1} = pa_n + qb_n$, $b_{n+1} = ra_n + sb_n$ ($qr \neq 0$) で定められた数列 式変形の目標を $a_{n+1} - kb_{n+1} = \alpha (a_n - kb_n)$ とする。左辺の a_{n+1} , b_{n+1} に漸化式 を適用すると, $(p-kr)a_n + (q-ks)b_n = \alpha a_n - k\alpha b_n$ となり,

$$p - kr = \alpha \cdots 1$$
, $q - ks = -k\alpha \cdots 2$

- ①を②に代入すると、q-ks=-k(p-kr)、 $rk^2+(s-p)k-q=0$ ……③
- ③が異なる 2 つの解をもつとき、 $k = k_1$ 、 k_2 とすると、数列 $\{a_n k_1b_n\}$ および

 $\{a_n - k_2 b_n\}$ が等比数列となり、両者の一般項から a_n 、 b_n を求めることができる。

③が重解をもつときは、数列 $\{a_n - k_1 b_n\}$ の一般項ともとの漸化式を連立する。

《注》 Point 10 の①と②から、公比 α に関する条件式を求めてみる。

①より $k = \frac{p-\alpha}{r}$ とし、②に代入すると $q - \frac{p-\alpha}{r}s = -\frac{p-\alpha}{r}\alpha$ となり、まとめると $\alpha^2 - (p+s)\alpha + (ps-qr) = 0$ となっている。これから、 α は 2 次方程式

$$x^{2} - (p+s)x + (ps-qr) = 0$$

の解であることがわかる。

連立漸化式は、行列を用いて表すことができ、

$$\begin{pmatrix} a_1 \\ b_1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ b \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} a_{n+1} \\ b_{n+1} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a_n \\ b_n \end{pmatrix}$$

これから、数列の一般項を行列のn乗を利用して求めることができる。

なお、④は行列 $\begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix}$ の固有方程式と呼ばれており、その解 α を固有値という。

例題 10 次の数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 5$$
, $b_1 = 3$, $a_{n+1} = 2a_n + 7b_n$, $b_{n+1} = a_n - 4b_n$

$$a_{n+1} = 2a_n + 7b_n \cdot \cdots \cdot 1, \quad b_{n+1} = a_n - 4b_n \cdot \cdots \cdot 2$$

③と
$$a_{n+1} - kb_{n+1} = \alpha(a_n - kb_n)$$
が一致することより、

$$2-k=\alpha \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \stackrel{\frown}{4}, \quad 7+4k=-k\alpha \cdot \cdot \cdot \cdot \stackrel{\frown}{5}$$

④を⑤に代入して、7+4k=-k(2-k)、 $k^2-6k-7=0$

よって、k=-1、7となり、4から、 $(\alpha, k)=(3, -1), (-5, 7)$

$$(\alpha, k) = (3, -1)$$
 のとき、 $a_{n+1} + b_{n+1} = 3(a_n + b_n)$ から、
$$a_n + b_n = (a_1 + b_1) \cdot 3^{n-1} = 8 \cdot 3^{n-1} \cdot \cdots \cdot 6$$

$$(\alpha, k) = (-5, 7)$$
 $0 \ge 3$, $a_{n+1} - 7b_{n+1} = -5(a_n - 7b_n)$
 $a_n - 7b_n = (a_1 - 7b_1) \cdot (-5)^{n-1} = -16(-5)^{n-1} \cdot \cdots \cdot 7$

⑥⑦より、
$$8a_n = 56 \cdot 3^{n-1} - 16(-5)^{n-1}$$
、 $a_n = 7 \cdot 3^{n-1} - 2(-5)^{n-1}$
 $8b_n = 8 \cdot 3^{n-1} + 16(-5)^{n-1}$, $b_n = 3^{n-1} + 2(-5)^{n-1}$

《注》Point 10 の《注》のように、公比αに関する条件から求めてもよい。

 $\begin{cases} a_{n+1} = 2a_n + 7b_n \\ b_{n+1} = a_n - 4b_n \end{cases}$ に対して、方程式 $x^2 - (2-4)x + (-8-7) = 0$ の解は、

まず, x = 3のとき $a_{n+1} - kb_{n+1} = 3(a_n - kb_n)$ とすると,

$$(2-k)a_n + (7+4k)b_n = 3a_n - 3kb_n$$

よって、k = -1 となり、 $a_{n+1} + b_{n+1} = 3(a_n + b_n)$

また, x = -5 のとき $a_{n+1} - kb_{n+1} = -5(a_n - kb_n)$ とすると,

$$(2-k)a_n + (7+4k)b_n = -5a_n + 5kb_n$$

よって、k=7となり、 $a_{n+1}-7b_{n+1}=-5(a_n-7b_n)$

このように式変形すると、数列 $\{a_n + b_n\}$ 、 $\{a_n - 7b_n\}$ がともに等比数列であることがわかる。

練習 10 次の数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

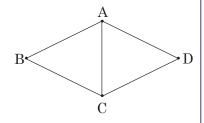
$$a_1 = 1$$
, $b_1 = 2$, $a_{n+1} = a_n - b_n$, $b_{n+1} = 4a_n + 5b_n$

2 つの数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ は $a_1=2$, $b_1=-1$, $a_{n+1}=\frac{5}{4}a_n-\frac{3}{4}b_n+\frac{1}{2}$,

 $b_{n+1} = -\frac{3}{4}a_n + \frac{5}{4}b_n - \frac{1}{2}(n=1, 2, 3, \dots)$ によって定義されている。

- (1) $a_n + b_n \delta n$ の式で表せ。 (2) $a_n b_n \delta n$ の式で表せ。
- (3) $a_n & c_n & c_n$

図のような4個の点 A. B. C. Dを結んだ図形を 考える。動点 P は点 A を出発点として A, B, C, D 上を移動する。P が A または C にいるときは, 残 りの 3 点にそれぞれ $\frac{1}{3}$ の確率で移動し、P が B ま



たは D にいるときは、A, C にそれぞれ $\frac{1}{2}$ の確率で

移動する。n回の移動後 P が A, B, C, D にいる確率をそれぞれ a_n , b_n , c_n , d_n と する。

- (1) a_{n+1} , c_{n+1} を a_n , b_n , c_n , d_n を用いて表せ。
- (2) 数列 $\{a_n + c_n\}$, $\{a_n c_n\}$ のそれぞれの漸化式を導け。

Back Next

第5講 連立漸化式

練習9

練習 10

問題9

(1)
$$a_{n+1} = \frac{5}{4}a_n - \frac{3}{4}b_n + \frac{1}{2}$$
 ……①, $b_{n+1} = -\frac{3}{4}a_n + \frac{5}{4}b_n - \frac{1}{2}$ ……②に対して、①+②より、 $a_{n+1} + b_{n+1} = \frac{1}{2}(a_n + b_n)$ $a_n + b_n = (a_1 + b_1)(\frac{1}{2})^{n-1} = (\frac{1}{2})^{n-1}$ ……③
(2) ①一②より、 $a_{n+1} - b_{n+1} = 2(a_n - b_n) + 1$ となり、 $a_{n+1} - b_{n+1} + 1 = 2(a_n - b_n + 1)$

(2) ①
$$-②$$
より, $a_{n+1} - b_{n+1} = 2(a_n - b_n) + 1$ となり, $a_{n+1} - b_{n+1} + 1 = 2(a_n - b_n + 1)$

$$a_n - b_n + 1 = (a_1 - b_1 + 1) \cdot 2^{n-1} = 4 \cdot 2^{n-1} = 2^{n+1}$$
よって, $a_n - b_n = 2^{n+1} - 1 \cdot \dots \cdot \dots \cdot 4$

(3)
$$34$$
 ξ 9 , $2a_n = \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} + 2^{n+1} - 1$, $a_n = \left(\frac{1}{2}\right)^n + 2^n - \frac{1}{2}$

問題 10

(1) 点 P が、n+1 回移動後、A にいるのは、 \square 回後 $\rightarrow n+1$ 回後の位置に関して、B \rightarrow A、C \rightarrow A、D \rightarrow A の 3 つの場合があるので、

$$a_{n+1} = \frac{1}{2}b_n + \frac{1}{3}c_n + \frac{1}{2}d_n \cdots$$

同様に、n+1回移動後、A にいるのは、B→C、A→C、D→C の 3 つの場合があり、 $c_{n+1} = \frac{1}{2}b_n + \frac{1}{3}a_n + \frac{1}{2}d_n \cdots \cdots ②$

ただし、
$$a_0 = 1$$
、 $c_0 = 0$ である。